

## 6月1日～7日は「水道週間」です！ ～生活も ウイルス予防も 蛇口から～

水道週間は、厚生労働省、都道府県をはじめ各市町村の水道事業者などにおいて、水道についての理解と関心を高めていただくことを目的に毎年実施されています。



## 多賀城市の給水車

### ココがすごい1 大容量！給水タンク

ステンレス製のタンクには、最大2,000リットル（2t）の水道水を積載することができます。

2,000リットルの水道水は、\*約650人分の一日に必要な量です。

\*1人あたり飲料用で最低限必要な水は、およそ3リットルといわれています。

### ココがすごい2 どこでも給水可能！

加圧ポンプを搭載しており、圧力で水を押し上げることで、公共施設、医療施設や避難施設などで高いところに設置してある受水槽にも送水できます。

#### ●多賀城市下水道事業経営戦略を策定しました

下水道事業の経営の基本となる「下水道事業経営戦略」の取り組みなどをご紹介します。

▶詳しくは2ページ

#### ●令和3年度多賀城市水道・下水道事業会計予算

令和3年度水道・下水道事業会計予算の概要について、予算状況などをお知らせします。

▶詳しくは4～5ページ

#### ●災害に備えて ～多賀城市上下水道部の取組み紹介～

大雨や断水などの災害に対する上下水道部の取組みをご紹介します。

▶詳しくは3ページ

#### ●多賀城市内の塩竈市給水区域について

多賀城市の下馬・笠神・丸山地区の一部は塩竈市給水区域となっており、その区域になった経緯などをご紹介します。

▶詳しくは6ページ

# 多賀城市下水道事業経営戦略を策定しました

計画期間：令和3年度～令和12年度

## 経営戦略を策定した背景

本市の公共下水道は昭和53年の供用開始から40年以上が経過し、施設の老朽化が進んでおり、今後、修繕などの維持管理費や改築・更新経費の増加が見込まれます。

一方、少子高齢化の進行による人口減少に伴い、下水道使用料収入の減少が見込まれており、厳しい経営環境に置かれることが予想されます。このような状況から、将来にわたって安定的に事業を継続していくため、投資・財政計画を踏まえ、今後10年間の本市が進むべき将来像と方向性を示した「多賀城市下水道事業経営戦略」を策定しました。

## 経営戦略における主な具体的な取組み

### (1) 不明水対策（溢水被害対策）

不明水量が多い地区を優先的にカメラ点検・調査を実施し、雨水が浸入している老朽管等を対象に改築及び修繕を継続的に実施していきます。



下水道カメラ

下水道カメラ調査

### (2) 雨水施設の保全と整備

多賀城市は低地、河口部という地理的な理由から、ポンプ場など多くの雨水施設を有しています。

各施設の重要度や標準耐用年数などを考慮し、必要性が高い設備から優先順位を付けて改築や更新を実施していきます。



老朽化した下水道管（イメージ）

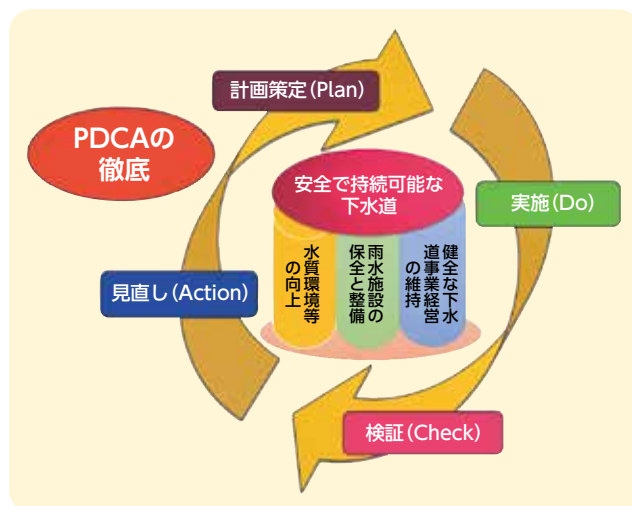
### (3) 健全な下水道事業経営の維持

厳しい経営環境下においても、皆様の快適な暮らしを守るため、適正な下水道使用料について検証を行います。

## 経営戦略の事後検証

経営戦略の事後検証については、各種経営指標の分析など進捗状況を確認のうえ、PDCAサイクルを活用して、3年から5年間隔で見直しを行い、将来にわたって安定的に質の高いサービスの提供体制を確保していきます。

PDCAサイクルイメージ▶



## 災害に備えて

～多賀城市上下水道部の取組み紹介～

### 大雨

#### 大雨に対する取組み

##### 【雨水排水の取組み】

水害に強いまちづくりを目指し、1時間あたりの最大雨量が約52mmの大雨（約10年に1度）による被害を最小限に抑えるため、施設整備を行っています。

台風などの大雨に備えて、「雨水ポンプ場」や「雨水調整池」を設け、雨水を強制的に排除したり雨水を一時的に貯留する施設の整備を行ってきました。

##### 【雨水ポンプ場等の概要】

6か所の雨水ポンプ場（中央、八幡、大代、浮島、丸山及び大代東）と2か所の雨水調整池（八幡第一、八幡第二）があります。雨水ポンプ場は、すべての雨水ポンプ場合わせて1分間に25メートルプール約20杯分に当たる5,038立方メートルの雨水を排除することができます。また、雨水調整池は、2つの施設合わせて25メートルプール約81杯分に相当する20,200立方メートルの雨水を貯めることができます。



雨水ポンプ場（中央雨水ポンプ場）



雨水調整池（八幡第二雨水調整池）

### 断水

#### 万一の断水に備えて ～効率的な給水体制を整備しました～

万一の断水時には、給水車による応急給水を行います。

また、令和2年度に、1,000リットルの水道水を入れることができる応急給水タンクを12基導入しました。

この応急給水タンクを各給水所に設置し、給水車が複数の給水所を巡回して応急給水タンクに補給することで、給水車がない場でも給水することができ、これまでよりも効率的に給水活動を行えるようになりました。



給水車から直接給水



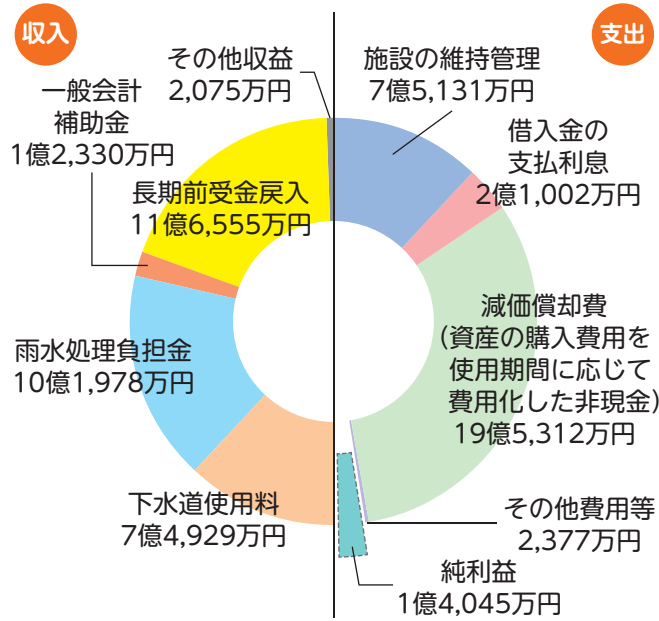
応急給水タンクを設置した給水所

# 令和3年度多賀城市下水道事業会計予算

# 令和3年度多賀城市水道事業会計予算

## 収益的収支 (消費税抜き)

### 雨水や汚水の処理をするための予算



#### 収益的収入

30億7,867万円

前年度比3.94%減

下水道使用料は前年度予算と比較すると約1,083万円減少する見込みです。下水道使用料のほか、一般会計からの補助金や雨水処理負担金により支出を賅っています。

#### 収益的支出

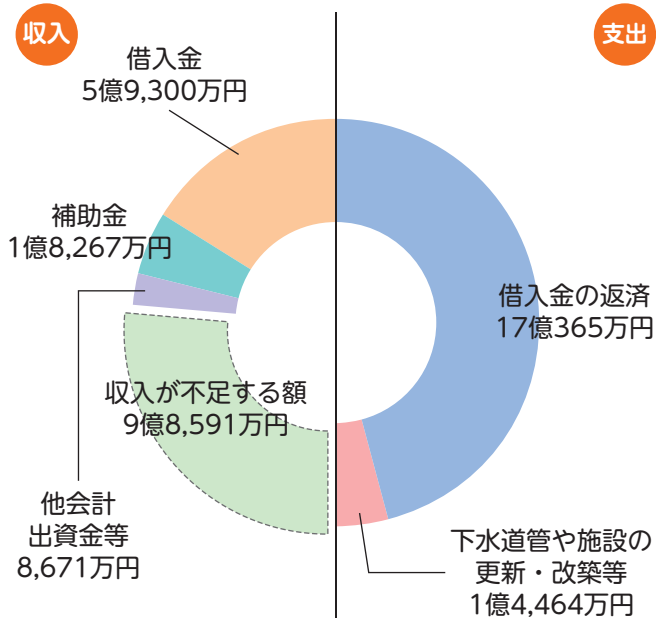
29億3,822万円

前年度比2.47%減

減価償却費が費用の約66%を占めており、雨水施設の維持管理や汚水管渠調査業務等を行うための費用が支出全体の約26%を占めています。

## 資本的収支 (消費税込み)

### 下水道管の布設や施設の更新・改築をするための予算



#### 資本的収入

8億6,238万円

前年度比44.85%減

老朽管の雨水幹線設計工事などの右記の工事を実施するための財源として、国庫補助金や一般会計からの補助金を受けるとともに企業債の借入を行う予定です。

#### 資本的支出

18億4,829万円

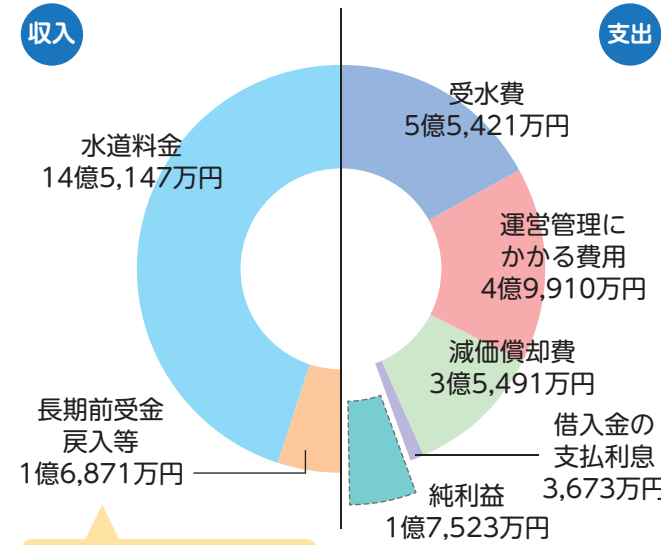
前年度比26.83%減

既存の施設を有効活用するため、長寿命化を目的とするストックマネジメント計画に基づき、施設の更新や設計業務委託を実施します。今年度は、大代・浮島・高橋地区の汚水老朽管更新工事等を行う予定です。

企業経営課経営企画係 内線761~764

## 収益的収支 (消費税抜き)

### 水道水の供給をするための予算



長期前受金戻入は、取得した固定資産の減価償却に見合う収入を毎年度取り崩して計上したものです。

純利益は工事のための借入金返済や建設改良積立金などに積み立てを行います。

#### 収益的収入

16億2,018万円

前年度比5.81%減

収入の約90%を占める水道料金収入は、令和2年10月に行った水道料金引き下げなどにより、前年度予算と比較すると、6,733万円の減少が見込まれます。

#### 収益的支出

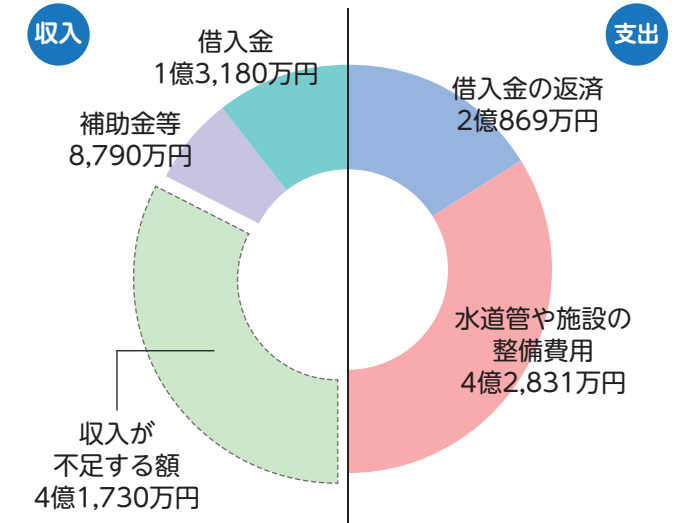
14億4,495万円

前年度比8.38%減

仙台市や仙南仙塩広域水道などから水を購入するための受水費と水道水をお届けするための運営管理にかかる費用などが全体の約73%を占めています。

## 資本的収支 (消費税込み)

### 水道管の布設や施設の整備をするための予算



収入不足額については、減価償却費、昨年度までの減債積立金、建設改良積立金などの積み立てで補填します。

#### 資本的収入

1億1,970万円

前年度比5.20%増

老朽管の更新や耐震化を図る工事などの右記の工事を実施するための財源として、国庫補助金の交付を受けるとともに、企業債の借入を行う予定です。

#### 資本的支出

6億3,700万円

前年度比6.46%減

水道水を安定的に供給するために、老朽管路更新工事や管路耐震化工事、施設の更新工事などを実施するための費用です。今年度は、中央地区の配水管整備工事等を行う予定です。

企業経営課経営企画係 内線761~764

## 助成制度概要

### 上下水道部では、浸水被害を軽減するため、「雨水貯留タンク」

- 1 助成対象者/多賀城市内で、雨水貯留タンクまたは雨水浸透ますを設置する市民や法人事業者など
- 2 助成対象地区/多賀城市内全域 (雨水浸透ますについては、浸透適地に該当する地区)
- 3 助成受付期間/令和4年1月14日(金)まで (令和4年2月28日(月)まで工事完了ができるもの)
- 4 助成対象となる「雨水貯留タンク」
  - ・雨水を貯留するために作られ、一般的に販売されているもの
  - ・貯留量の総量が120リットル以上のもの
  - ・建物の雨どいから接続でき、耐久性のあるもの
- 5 助成対象となる「雨水浸透ます」
  - ・建物の雨どいなどから直接接続し、本市が指定する設置改良が可能であるもの
  - ・浸透能力が500リットル以上で、市で定める規格以上のもの

### や「雨水浸透ます」の設置費用の一部を助成しています

- 6 必要書類/①設置場所の位置図 ②構造図 ③設置費用を証明する書類 ④市県民税を滞納していないことを証明する書類 (令和2年度分納税証明書、完納証明書)
- 7 補助金額/設置費用の3分の2に相当する額で、限度額は4万円 (消費税を含む)
  - 雨水貯留タンク…本体及び付属材料の合計額
  - 雨水浸透ます…本体及び設置費用の合計額

※設置後5年間は撤去できません。ただし、やむを得ない理由があると認められるときは、期間を短縮することができます。

※設置後の申請はできませんので、事前にお問い合わせください。



雨水貯留タンクの設置例

施設整備課給排水係 内線725~727

# 多賀城市内の塩竈市給水区域について

多賀城市の下馬・笠神・丸山地区の一部は、塩竈市が厚生労働省の事業認可を得て、塩竈市水道事業による水道水の供給を行っています。

## ●多賀城市内の塩竈市給水区域

町名	街区番号	町名	街区番号
丸山一丁目	12番28号～12番31号 12番36号～12番38号 13番4号 14番(50号を除く)	笠神一～二丁目	全域
下馬一～三丁目	全域	笠神三丁目	1番～10番 12番1号～12番3号
下馬四丁目	1番～17番 18番9号 18番20号～18番21号 19番11号～19番25号	笠神四丁目	全域
下馬五丁目	2番～4番 5番22号～5番25号 5番28号	笠神五丁目	1番～3番 4番(1号を除く)～6番 10番(笠神保育所を除く) 13番20号～13番24号

## ●塩竈市給水区域になった経緯

多賀城市の水道事業は、昭和26年に米軍の進駐軍から余剰水の分与を受けて、村営（当時）水道事業として開始したのが始まりです。

昭和30年代に工場地帯が誘致されたことなどにより、多賀城町(昭和26年7月 町制施行)の人口は急激に増加することとなりますが、町営の水道事業だけでは、住民への水の供給が足りていない状況でした。

そこで、隣接する塩竈市が天の山地区（現在の笠神地区）に配水池を有していたこともあり、昭和33年に下馬と笠神の一部を塩竈市の給水区域として水の供給を受けることが町議会で決定され、現在に至っています。

企業経営課料金業務係 内線771～773

## 公共下水道への接続のお願い

ご家庭などから排出される生活雑排水が公共下水道へ流れることで、お住まいの地域の環境が保全され、より快適に暮らすことができます。

現在、汲み取りや浄化槽をご使用になられている方は、ぜひ、公共下水道への接続をお願いいたします。

市民の皆さまの快適な暮らしを応援するため、工事資金（上限60万円）の融資あつせんのほか、その利子の補給を行っています。お気軽にご相談ください。

### 施設整備課給排水係

内線725～727

## 漏水調査を行っています

毎年、道路や宅地内の漏水調査を行っています。

漏水調査は、漏水探知器や音聴棒などを地面や水道メーターにあてて、漏水音の有無を確認します。

交通量の多い道路では、昼間、騒音などによって漏水音の調査ができないため、交通量の少ない夜間に調査を実施します。

漏水を早期に発見することで、限られた水資源の有効活用につながります。

また、漏水に伴う道路や宅地内の陥没等を未然に防止します。

### 施設整備課上水道施設係

内線781～783

## 水道・下水道便利帳をホームページにアップしました!

このような困ったときにご利用ください。

**水道・下水道のお手続き**  
お引越しなどで水道を使用したいなど

**水道料金・下水道使用料**  
水道料金や下水道使用料の仕組みは

**水道管の漏水**  
家の中で漏水が発生してしまった

**排水管の詰まり**  
下水道管が詰まって流れない

便利帳は、多賀城市ホームページから、ダウンロードすることもできます。

【多賀城市ホームページ】

<https://www.city.tagajo.miyagi.jp/ryokin/kurashi/suido/bennrityou.html>

